



はじめに

私たちのまち春日井市は、名古屋市に隣接し、人口30万を擁する中部圏の中核的都市へと発展してきました。

一方、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、核家族化の進行など、我が国の社会環境が大きく変化してきている中、本市においても、団塊の世代が高齢期を迎えようとしており、高齢者人口も年々増加していることから、今後、援助を必要とする高齢者が一層増加することが予想されます。

介護保険制度は、発足から9年が経過し、サービス提供基盤の整備が急速に進み、サービス利用者が着実に増加するなど、我が国の高齢期を支える制度として定着してきましたが、介護サービスの充実に伴い、介護保険の給付費も飛躍的に増加しています。

このような中、平成17年度に策定しました第3次計画の推進状況を検証するとともに、高齢者を取り巻く社会環境の変化を勘案しながら、「高齢者の社会参加の促進」「介護予防の推進」「地域での見守り活動の推進」「認知症高齢者への対応の充実」という4つの重点課題を抽出し、第4次春日井市高齢者総合福祉計画を策定しました。

今後は、この計画に基づき、すべての高齢者が生きがいを持ち、また、介護が必要となったときにも、住み慣れた家庭や地域の中で、安心して暮らし続けることができるよう、地域の皆様と一体となって取り組んでまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、計画策定にあたり貴重なご意見やご提言をいただきました春日井市高齢者総合福祉計画推進協議会委員の皆様を始め、実態調査や意見募集など、さまざまな形でご参加いただきました市民の皆様、関係各位に対しまして心から感謝を申し上げます。

平成21年3月

春日井市長 伊藤 太

